

令和6年第3回定例会一般質問通告事項

	冠 匡 晃 議員（潮風おのみち）	質問方式：一問一答方式
9 月 4	<p>1 令和6年度尾道市で「地球温暖化対策」の名目において4億5,000万円の予算を割いていることについて</p> <p>(1) この巨額を投じた政策により、「尾道の気温がいつ、何度下がるのか」、「地球の気温がいつ、何度下がるのか」、「誰が得をし、誰が損をするのか」、諸外国の動きも踏まえ、具体的な根拠を示して説明してください</p> <p>(2) 令和2年11月に尾道市は二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「尾道市ゼロカーボンシティ宣言」を行っておりますが、脱炭素の取り組みをしなかった場合、将来我々にどのような不都合が起こるのか、具体的な根拠を示して説明してください</p> <p>(3) CO₂を削減すること、またCO₂削減への取り組みの過程において起こり得るデメリットを説明してください</p> <p>(4) 現在の尾道の夏の気温が数十年前と比べ2度ほど上昇しているのは、いわゆる「人為起源のCO₂排出による地球温暖化」によるものという認識でしょうか</p> <p>(5) 尾道市内で熱中症で7月に63人搬送、6割が高齢者、半数は住宅で発症（8/4尾道新聞）とありますが、熱中症防止のためにこれまで行ってきた対策と、今後の方針や新たな対策があればお聞かせください</p>	
日	<p>2 副作用により尾道市内で死者6人を含む31人の健康被害を出しているコロナワクチン接種事業について</p> <p>(1) 現在日本でもこのワクチンの被害者による集団訴訟の裁判が行われておりますが、「このワクチンを打っても感染予防効果がない上、また過去に類を見ない多様で重大なリスクがあることを知っていたら打たなかった」という市民の声が多く上がっておりますが、これに対する市長からのコメントをお願いいたします</p> <p>(2) 現在までに日本で確認されたコロナワクチンの副作用による被害の報告件数及び、そのすべての重篤な副反応の病名及び、病名のないものはその症状を教えてください</p>	

<p>9 月 4 日</p>	<p>(3) コロナワクチンの頻回接種をすると免疫力を抑制する IgG4 抗体が誘導されることが判明しており、打てば打つほどコロナに感染しやすくなり、またあらゆる感染症や病気に掛かりやすく、また治りにくくなるのが国内外の多くに専門家によって指摘されています。</p> <p>一方で現在流行しているコロナ株は発熱もなく、のど風程度のものであり、これに補助金を出し市民に接種を推奨し続ける理由を教えてください</p> <p>(4) これまで市で行うワクチン接種事業において総括を行いましたか</p> <p>(5) ワクチン接種事業において地方自治体の負うべき責任をどう心得ていますか</p> <p>(6) この秋から明治製菓ファルマの「コスタイベ」などレプリコン型ワクチンという新しいワクチンがリリースされる予定となっております。</p> <p>これに対し日本看護倫理学会が安全性が確認されていない上、接種した者からの伝播（シェディング）により、接種していない者への被害が起こり得ることなど、安全性が担保されていないとして深刻な懸念を表明しています。</p> <p>このレプリコン型ワクチンが承認されている国と、専門家が指摘するリスクを分かりやすく説明してください</p>
----------------------------	--